

第52回 小平杯

東信地区中学校剣道錬成大会要項

- 1 趣 旨 東信地区中学校選手を迎え、正しい剣道の伝承と発展を願い、剣道の特性を生かし、専ら心身の錬磨および相互の親睦を図り、もって将来を担う青少年の健全なる育成を目的に開催する。
- 2 大会長 佐久市長 柳田 清二
- 3 主 催 信武館小平道場
- 4 主 管 第52回小平杯東信地区中学校剣道錬成大会実行委員会
- 5 後 援 信武館小平道場後援会
佐久市教育委員会・長野県剣道連盟・長野県剣道道場連盟
佐久地区剣道連盟・信濃毎日新聞社・佐久市民新聞
- 6 期 日 令和7年6月1日（日）午前8時 開場・受付開始
日 程 開会式 午前9時
試合開始 午前10時
閉会式 午後4時（予定）※詳細は後日連絡
- 7 会 場 長野県佐久創造館 体育館 佐久市大字猿久保字丸山 55
電話 0267-68-2811
- 8 種 目 団体戦 男子の部 女子の部
- 9 参加資格 東信地区（佐久地域、上田地域、埴科郡地区を含む）の中学校及び中体連で認められたクラブチーム及び合同チームとし、男女各5名の選手と補欠1名を認める。チーム編成については別紙参照。
- 10 審判規定 公益財団全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、同細則による。
並びに、本大会申し合わせ事項に従って行う。
- 11 試合方法 トーナメント方式による団体戦。準々決勝までは2分30秒3本勝負、準決勝・決勝は3分3本勝負。時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとし、勝者数、総本数の順で勝者を決定する。チームの勝敗が決しない場合は代表者戦を行う。代表者戦は3分1本勝負とし、時間内に決しない場合は2分間の延長戦を勝敗が決するまで繰り返す。延長戦は、2回ごとに小休憩、さらに2回ごとに面を外して約3分間の大休憩を挟む。試合方法については、変更となる場合がある。
- 12 出場配置 欠員については、1名の場合は次鋒を空け、2名の場合は次鋒と副将を空ける。補欠の交代は1回のみとし、交代した選手は再びは出場できない。選手の交代の際は審判長に申し出る。

- 13 申込み 信武館小平道場 HP (<https://shinbukan.info/kodairahai>) の参加申込み
フォームをからお申し込みください。(参加申込書式を使用して申し込む)
申込み締め切りは、**令和7年5月9日(金) 必着のこと**
インターネット環境が使えない場合は、FAX (番号 050-3457-7370) を
大会事務局 中澤寛あてで送信をしてください。

大会ホームページ (随時情報更新)
<https://shinbukan.info/kodairahai>



- 14 組合せ 令和6年5月13日(火) 実行委員会が責任抽選を行う。
15 参加料 無料
16 表彰 優勝チーム 賞状・優勝杯並びに副賞
準優勝チーム 賞状・準優勝杯並びに副賞
第3位チーム 賞状並びに副賞
最優秀選手賞 男女各1名にメダルを贈る

17 その他

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

①長野県剣道連盟策定「県連大会ガイドライン」に沿って運営する。

②以下に該当する者は出場できない。

1、基礎疾患のある者

●基礎疾患のある者とは、「糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患 (COPD)、透析を受けている、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている」をいう。

●これらの者が理由があって出場する場合は、主治医の承認を得るものとする。

2、発熱のある者 (個人差があるが、一般的に 37.5 度以上ある者をいう)

3、咳・咽頭痛など風邪のような症状がある者、その他体調がよくない者

4、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

5、過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

③試合出場者は日頃から体調管理、感染予防に努める。

④試合出場者は面マスク・マウスシールド、家庭用マスクを持参する。

※面マスクまたはシールドは全選手が試合時着用必須

(2) 出場選手が競技中に障害を受けた場合は主催者が応急処置のみをする他は一切その責任を負いません。

(3) 前垂にチーム名、姓名を明記した名札を付けて出場して下さい。

(4) 紅白の目印は各学校・団体にてご持参下さい。

(5) 各学校の先生 (可能な方) には当日、審判をお願いすることがあります。

※大会のお問い合わせ先 大会実行委員会事務局(中澤)

Email kjljtp@yahoo.co.jp

Tel 090-4159-9446

チーム編成についてのお願い

出場したいと希望する学校及び中体連に認められた地域クラブについては次の点に配慮して、チームを編成し出場してください。

- 1 チームの名称は限定しませんが、学校及び中体連に認められた地域クラブ名とし、同名の場合は、A、B、…のようなチーム名として下さい。プログラムにはチーム名と監督名を記載します。
例 小平中学校 A 小平中学校 B 小平スポ少 A 小平スポ少 B
- 2 「垂名札」は、チームで統一された所属チーム名または略称でそろえて下さい。（黒ガムテープ等の利用も可）
- 3 団体戦のチーム編成が難しい少人数の学校及び中体連に認められた地域クラブは、合同チームとして出場できます。その際、部員数の多い団体で団体戦に出場できない選手がいれば、合同チームの一員として参加することができます。
- 4 合同チームを編成する場合は、事前に話し合い、主になる学校及び中体連に認められた地域クラブを決めて参加してください。各チームの監督は、複数チーム兼任としないようにお願いします。
- 5 賞品と賞状は、優勝、準優勝、三位のチームに、渡されます。該当するチームが合同チームだった場合は、そのチーム名で、賞品と賞状が渡されます。各チームの実情に合わせて配分してください。
- 6 団体戦出場チームは、下記に示すサイズのオーダー表（1枚）及び対戦結果記入用紙（1枚）をチーム毎に準備し、
当日受付時にオーダー表と対戦結果記入用紙をチーム毎に、提出してください。

↓オーダー用紙 縦27cm 横80cm （模造紙4等分）

15cm チーム名	先鋒 13cm 氏 名	次鋒 13cm 氏 名	中堅 13cm 氏 名	副将 13cm 氏 名	大将 13cm 氏 名
--------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

（同姓の場合は名前の1文字を入れる。）

↓対戦結果記録用紙 縦27cm 横80cm （模造紙4等分）

15cm	13cm	13cm	13cm	13cm	13cm

（中央に区切り線を書いて空欄にしてください）